

ウォッチガード、ハイパフォーマンス UTM アプライアンス Firebox の新モデル M4800 と M5800 を発表

組織のリモートスタッフの増加に対応するシンプル化された広範かつ柔軟なセキュリティを提供

2021年2月2日(火) - 企業向け統合型セキュリティソリューション(ネットワークセキュリティ/セキュア Wi-Fi/多要素認証/エンドポイントプロテクション)のグローバルリーダである WatchGuard (R) Technologies の日本法人、ウォッチガード・テクノロジー・ジャパン株式会社(本社:東京都港区、代表執行役員社長 谷口 忠彦、以下ウォッチガード)は、同社の Firebox アプライアンスのニューモデル、M4800 と M5800 のリリースを発表しました。新たな UTM アプライアンスでは、分散化が進み、従来の企業ネットワークの境界の外で勤務する従業員が増加している企業のニーズに応えるべく、さらに強力なパフォーマンス、セキュリティサービス、そして柔軟性を提供します。

ウォッチガードの製品管理担当バイスプレジデント Brendan Patterson (ブレンダン・パターソン)は、次のように述べています。「あらゆる業種、規模の組織はここ1年で大規模な変革を経験しており、コアネットワークのセキュリティをいかにしてリモート勤務の従業員やエンドポイントに適用するか最善の方法に取り組んでいます。私たちのシンプルでモジュール化された低価格の M シリーズアプライアンスは業界最先端のスピードとパフォーマンスを備えており、パートナーやお客様に統合型のセキュリティプラットフォームを提供することでリモートワークに適応し、ビジネスに応じて拡張することができます。」

最新のウォッチガードの脅威インテリジェンス(情報)によると、暗号化されたトラフィックを効果的に分析できない組織は、攻撃の54%を見逃してしまうことになり、今日の脅威情勢において HTTPS のインスペクションが必要であることを示唆しています。今回発表した M4800 と M5800 は、UTM の全てのサービスを有効にした場合、それぞれ 5.2Gbps、11.3Gbps のスループットを実現しています。Firebox M5800 は、インターネット技術特別調査委員会(IETF)に採用されている NetSecOPEN によるオープンで標準化されたテストでそのパフォーマンスが認定されています。NetSecOPEN のテストにおいて、Firebox M5800 は全てのセキュリティスキャンおよび HTTPS コンテンツのインスペクションを有効にした場合、最大 4.9Gbps のスループットが実証されています。Firebox M4800 と M5800 は、現在ウォッチガードの Firebox アプライアンスで最高レベルのパフォーマンスを発揮し、スループットを損ねずにセキュリティを確保することができます。レポートの完全版はこちらよりダウンロードすることができます。

<https://www.watchguard.com/wgrd-resource-center/firebox-m4800m5800-netsecopen> (英語版)

企業の事業運営は COVID-19 に対処するために変化し続けており、組織と IT ソリューションプロバイダは、ネットワークの進化に適応できるセキュリティプラットフォームを必要としています。新 M Series のアプライアンスは柔軟性も備えており、ネットワークモジュール用の2つのスロット、さらに光ファイバーおよび銅ポートオプション(2 x 40Gb 光ファイバー、4 x 10Gb 光ファイバー、8 x 1Gb 光ファイバー、8 x 1Gb 銅)も用意されています。M4800 と M5800 の拡張モジュールは、ウォッチガードのミッドレンジの Firebox アプライアンスにも対応しており、組織のネットワークセキュリティ態勢に迅速かつシンプルに適応、強化することができます。

新 Firebox M4800 と M5800 の広範な特長、メリットを以下に紹介します：

- **容易なセキュアリモートアクセス** - セキュアリモートアクセスを可能にする、Access Portal を用いたウォッチガードのクライアントレス VPN サービスの導入が、ここ 1 年で 85% の伸びを見せています。M4800 と M5800 により、ユーザは場所を問わず、Web ブラウザを通じてサードパーティの Web アプリケーション、内部アプリケーション、Microsoft Exchange サービスにセキュアに接続できるとともに、ローカルリソースに対して RDP (リモートデスクトッププロトコル) および SSH (セキュアシェル) セッションを作成することが可能になります。
- **シンプルなクラウドベースの可視化と管理** - ウォッチガードのクラウドプラットフォームにより、アプライアンスを迅速かつシンプルに管理することができ、ネットワークをきめ細かく可視化し、場所と時間を問わずタイムリーで実用的かつ効果的なセキュリティアクションを実行することができます。WatchGuard Cloud では 100 種類以上のダッシュボードやレポートが用意されており、トレンドや異常値についてハイレベルかつ深い知見を得ることができます。M4800/M5800 アプライアンスに Total Security オプションを追加することで、1 か月のログとレポートが追加費用なしで利用することができます。
- **コア機能を自動化** - 新 M Series アプライアンスはコア機能を自動化しており、中堅／中小企業や IT ソリューションプロバイダの負荷を軽減します。ウォッチガードの自動化機能により、新規のアプライアンスをクラウドから設定し、脅威のブロック、シグニチャのアップデート、マルウェアの検知と除去、そして管理プロセスの合理化を実現します。

aimIT Denmark の CEO、Carsten Alnoe 氏は以下のようにコメントしています。「マネージドサービスプロバイダとして、今日の私たちの最優先事項は、お客様に対して高いパフォーマンスを維持しつつセキュアなネットワークを導入、維持することです。私たちはレイテンシを大幅に削減し、パフォーマンスを大きく向上させつつ、リモートスタッフの保護機能を拡張することができました。ウォッチガードの新 M Series ファイアウォールアプライアンス M4800 により、一元プラットフォームの下で重要なネットワークおよびセキュリティ機能を集約し、暗号化されたトラフィックを検査し、リモートワークセキュリティの懸念事項を払拭し、お客様の分散化したロケーションにおける実装環境における管理、保護をシンプル化することに成功しました。」

ウォッチガードの全般的な製品ポートフォリオについては以下をご覧ください。

<https://www.watchguard.co.jp/products>

また、ウォッチガード製品、サポート、マイグレーションパスについてはこちらにアクセスして下さい。

<https://www.watchguard.com/wgrd-resource-center/end-of-life-policy> (英語)

関連資料：

NetSecOPEN レポート (英語)

<https://www.watchguard.com/wgrd-resource-center/firebox-m4800m5800-netsecopen>

Firebox M4800/M5800 Web ページ／データシート (日本語)

<https://www.watchguard.co.jp/products/network-security-appliances/firebox-m4800-m5800>

WatchGuard アプライアンスサイジングツール (英語)

<https://www.watchguard.com/wgrd-resource-center/watchguard-appliance-sizing-tool>

【WatchGuard Technologies について】

WatchGuard (R) Technologies は、ネットワークセキュリティ、セキュア Wi-Fi、多要素認証、高度なエンドポイントプロテクション、ネットワークインテリジェンスを提供するグローバルリーダとして、全世界で約 10,000 社の販売パートナーとサービスプロバイダより 80,000 社以上の企業にエンタープライズクラスのセキュリティ製品とサービスを提供しています。ウォッチガードのミッションは、中堅・中小企業や分散型企業を含むすべての企業がエンタープライズレベルのセキュリティをシン

フルに利用できるようにすることです。本社を米国ワシントン州シアトルに置き、北米、ヨーロッパ、アジア太平洋地区、中南米に支社を展開しています。日本法人であるウォッチガード・テクノロジー・ジャパン株式会社は、数多くのパートナーを通じて、国内で拡大する多様なセキュリティニーズへのソリューションを提供しています。詳細は <https://www.watchguard.co.jp> をご覧下さい。

さらなる詳細情報、プロモーション活動、最新動向は Twitter (@WatchGuardJapan)、Facebook (@WatchGuard.jp)、をフォローして下さい。また、最新の脅威に関するリアルタイム情報やその対策法は SecplicityJP までアクセスして下さい。
SecplicityJP : <https://www.watchguard.co.jp/security-news>

WatchGuard は、WatchGuard Technologies, Inc.の登録商標です。その他の商標は各社に帰属します。

【本プレスリリースに関するお問合せ】

ウォッチガード・テクノロジー・ジャパン株式会社

〒106-0041

東京都港区麻布台 1-11-9 BPR プレイス神谷町 5 階

マーケティング担当

Tel : 03-5797-7205 Fax : 03-5797-7207

Email : jpnsales@watchguard.com

URL : <https://www.watchguard.co.jp>